

11 景観

現状

- 当町には、青い海や緑に囲まれた丘陵地、2段丘の景観、かもめ島に沈む美しい夕日などの自然景観があります。また、海の町と思われがちなか、のどかな田園風景や自生北限地であるヒバの風景などもあります。
- 町内には、歴史を感じる建物景観など、江差ならではの街並み景観があります。特に、歴史を生かす街並み整備モデル地区には、建物修景・案内板・電線地中化・下水道・公園整備などともに、いにしえ街道としての街なみが形成されています。

課題

- 歴史を生かす街並み整備モデル地区も含め、中心市街地に空き店舗が増えており、市街地の景観が損なわれつつあります。
- 住民が愛着や安らぎを感じる景観、まちを訪れる人々に江差らしさを感じてもらえる景観などを創り保全していくことが必要です。
- 道路の法面、急傾斜地の斜面など、景観的な配慮がされていない箇所があります。
- 市街地入り口となる国道沿線の景観対策などより一層の具体的な検討が必要です。
- 市街地では緑地の不足、景観を損ねる看板や広告、ごみの散乱や雑草の放置などが見られます。

課題解決に向けた基本方針

- ・ 景観に対する意識を再認識し、景観を生かした地域の活性化を図ります。
- ・ 自然環境や風景から生まれた景観の保全、向上を進めます。
- ・ 江差の歴史や街並みが生み出す景観によるまちづくりを進めます。
- ・ まち歩きや買い物が楽しめる通りづくり、既存の景観に新たな要素を加えた魅力の向上など、歴史的景観ゾーンの魅力の向上を図ります。
- ・ 道路法面、急傾斜地の法面などに対する植栽活動により、景観形成への取り組みを進めます。
- ・ 沿道の景観保全や自然景観の保全に向けた住民活動を促進します。

具体的な施策

歴史的景観の保全	・ 江差らしい歴史景観ゾーンの整備（民間活力を期待した歴まちの空き地の活用策の検討）
住宅景観の保全	・ 良質な住環境及び住宅景観の確保 ・ 景観に配慮した公共建築物や公共住宅などの整備
自然景観の保全	・ 海・山麓・丘陵地・田畑などの豊かな自然景観の保全 ・ 「江差百選」*に寄せられた多くの「ふるさと原風景」の保全
景観阻害の改善	・ 景観を損ねる屋外広告物への対策の推進（「北海道景観条例」を遵守し、規制や規格の統一など） ・ 利用されず放置されたストック（施設）による景観悪化と地域の安全性の改善
景観の向上	・ 景観に関する住民のモラルと意識の高揚（町内会組織、協働のまちづくりボランティア団体「草刈隊」との連携など） ・ まちの景観について検討する組織づくり ・ 雑草の放置やごみの散乱などの改善 ・ 花いっぱい活動の推進（町内会やボランティア活動との連携による推進） ・ フラワーマスター養成に関する取り組みの推進 ・ 農村地区での景観作物等による景観づくり



※（「江差百選」）平成12年7月1日に町制施行100周年を迎えたことを記念して、未来に引き継ぐ江差の百選を募集しました。江差には、豊かな自然、悠久の時を伝える歴史的遺産、先人達が育ててきた文化や生活などが数多くあります。それら江差の財産とも言うべきものを皆さんから募集したところ909通、267件の応募があり、その中から選考委員会において「百選」が選ばれました。代表的なものは、かもめ島、砂坂海岸林、夕日などがあります。